

鈴木 朝英 先生揮毫

事務局 札幌市西区西野
7条2丁目1-2
斎藤 彰方

TEL 090-3773-8824

会長 竹田正直

二 挨



同窓生の皆様にはその後もお変わりなくご活躍のことと察します。

私こと今年五月より教育
学研究院長・教育学部長・
教育学院長に就任いたしま
した。皆様に一言ご挨拶を
申し上げます。

始めに、学部の教員の動
静についてお伝えしたく思
います。四名の方が辞めら
れました。まず、数学教育・
教育方法学の須田勝彦さん
が三四年にわたる勤務を終
えて定年退職されました。
あの訃々とした語り口によ
るラジカルな歴史批判の講
義はもう聞けません。

転出のほうでは、片山順一准教授が母校、関西学院大学文学部の実験心理学担当として戻られました。坪井由実教授は母校の愛知県立大より大学院人間発達学

帰郷されました。本学での在任は五年程でしたが、教育行政学研究室を横井さんと共に盛り上げ、スクールリーダーシップ講座の組織や、法人化移行後の学院整備や管理運営諸分野においても力を発揮されました。

岩田美香准教授は法政大学の現代福祉学部に教授となつて栄転されました。

ついで新來の教員をご紹介します。現在まで三名の方が着任されました。宮盛邦友さんは明治大学仏文科の出で、中央大・東大の大学院で教育学を研究してこられた新進の教育学者です。梅津徹郎さんは元々北大の工学部の出で、本学部および大学院で教授学を専攻後、札幌市内の中学・高校で長年教員を勤めてこられた方

究院長・教育學院長・教育學部長

です。鳥山まどかさんは、この学部と大学院で教育福祉論を専攻したのち法政大学で実習指導教員として働きながら、本学の博士学位を取
得された方。

高橋敬さん（留学生センター所属・准教授）と青木麻衣子さん（同・専任講師）の御二方が学院スタッフに加わられ、それぞれ新分野に挑戦していただくことになりました。

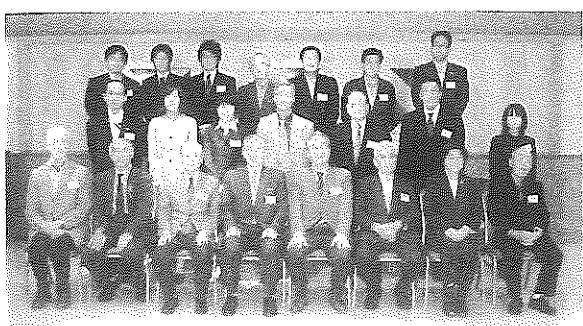
本学部の在り方に関わり、ここで、考え方を申し陳べさせていただきます。とはい私は、前任の青木学部長時代に「周回遡れのようだが」と前置きされつつ表明された、博士課程を持つ国立大学教育学部の社会的、学術的役割を想起して、研究と人材育成の両面において特色をより鮮明にしていくという姿勢と方向を継承

H21年度北大教育学部同窓会総会 ・懇親会の二案内

一、教育學部主催行實

- ・記念式典　平成21年9月26日(土) 13時より
・記念シンポジウム　“” 14時30分より17時まで
　　テーマ「教育学研究と教育学部の課題」
　　パネリスト

本年は、教育学部創立60周年という記念の年を迎えております。教育学部同窓会といたしましては、今年度は教育学部の記念行事ならびに懇親会を行うこといたしました。



2、同窓会総会

- 3、平成21年9月20日(土) 17時30分より50分まで
会場：京王プラザホテル(中央区北5条西7丁目)
・教育学部と同窓会の共催による記念祝賀会・懇親会
・平成21年9月26日(土) 18時より
会場：京王プラザホテル(中央区北5条西7丁目)
会費：5000円(当日会場にて申し受けます。)

する積もりです。昨今の文教政策には動搖があり、市場主義。「自己責任」の時代の弊害を生んだ制度を修正あるいは人口変動に対応する動きも始まっています。報道では、学生・院生定員の見直し、学士力の向上策、教員養成の改善云々と伝えられますが、北大や本学部のような機関の歴史的な使命が揺るがされているとは思われません。私たちは基本的には従来通り、人間の学習・発達・成長・福祉・健康・国際理解等の深い知識をもつて社会に尽くす教養人を輩出しています。ただし、これらの分野において或いは北海道において、積年の問題が顕在化していることは冷厳な事実であり、右のような使命を有する本学部に「出番」が回ってきていると言わざるを得ません。

今年は学部創立60周年の年にあたり、九月に記念行事を行います。規模はコンパクトながらも、学部の過去・現在・未来についての理解を鮮明にするべく企画を準備中であります。そこでは同窓会の皆様のご支援が不可欠です。宜しくお願ひいたします。

次に、本紙面では久しく述べになりますので、我が学部の現在の各研究グループの教員構成を以下に掲げ、あわせてそれぞれの研究分野・課題等について私から紹介させていただきます。

◇教育方法学グループ
大野栄三教授（科学教育論、カリキュラムづくり・授業づくり）
大竹政美准教授（カリキュラム研究、英語のコミュニケーション文法の教育）
◇教育行政学グループ
横井敏郎准教授（教育における地方自治・住民参加、学校から職業生活への移行と公教育体系の構築）
宮盛邦友助教（教育法、子どもの権利・教育基本法について）
◇教育史・比較教育グループ
所伸一教授（ロシア・ボリューフニズム（総合技術教育）、歴史・比較教育学史）
近藤健一郎准教授（日本教育史（特に近代沖縄教育史））
北村嘉恵准教授（近代台湾先住民教育史、日本植民地教育史）
◇高等継続教育論グループ
丸山美貴子助手（生産・労働心理学論、協同組合論）

姉崎洋一教授（高等教育と生涯学習の結合の歴史と理論）。
光本滋助教（高等教育論、公立大学の形成過程）。
◇国際教育開発論（学院の新設グループ）
山岸みどり教授（国際的教育評価・選抜論）。
◇生涯学習計画グループ（学院）
木村純教授（生涯学習組織論、地域作りと大学の関係）。
梅津徹郎教授（近代日本留学史、教育における女性史）。
◇教職課程グループ（新設）
山田憲政准教授（教科教育論、教師教育論、自然科学を中心とした授業づくり）。
◇教育福祉論グループ
青木紀教授（教育福祉論・社会福祉学、アカデミズムの在り方）。
◇特殊教育・臨床心理学グループ
室橋春光教授（認知生理心理学、発達障害論）。
河西哲子准教授（認知心理学・認知神経科学（視覚的注意領域））。
◇教育臨床心理学グループ
田中康雄教授（地域・家族・子どもの連携・精神医学）。
間宮正幸教授（教育相談論・臨床心理学史）。
◇体育方法グループ
鈴木敏正教授（産業労働研究と職業教育訓練の接続）。
駒川智子助教（ホワイトカラーア・女性労働の研究、ジェンダー論）。

◇教育社会学グループ
陳省仁教授（乳幼児発達心理学、子育て人類学）。
水野眞佐夫教授（筋生理学、トレーニングとタンパク質摂取）。
矢野徳郎教授（激運動時の酸素採取）。
小川泰寛教授（近代英国の演劇文化、西欧におけるユダヤ人問題）。
◇体力科学グループ
柚木孝敬准教授（運動時のホメオスタシス維持機構）。
◇国際多元文化教育論グループ（学院）
山田憲政准教授（バイオメカニズム）。
保延光一准教授（バイオメカニクス、人間の積分能力と空間概念構成）。
◇健康科学グループ
河口明人教授（生活習慣病予防の臨床疫学、ヘルスケアネットワーク論）。
大塚吉則教授（自然療法、温泉気候医学、東洋医学、代謝学）。
◇体育史グループ
厚東芳樹助教（体育科教授学、教師の指導力構築）。
寺田龍男教授（比較文学、地域研究、移民のアメリカ社会への同化・適応）。
竹本幸博教授（異文化論、キリスト教宗教対立史）。
土田映子准教授（アメリカ前近代の多文化共生と異文化化摩擦）。

◇体能社会学グループ
長野督教授（フランス語教育学、比較文化論、EUの語学教育指標分析）。
野澤俊敬教授（北海道大学、北京オフィス所長兼任）。
◇体育社会学グループ
大沼義彦准教授（スポーツと地域社会（開発））。
石岡丈昇助教（貧困世界における身体文化形成、特にフィリピンをフィールドに）。
青木麻衣子講師（比較教育

学、オーストラリアの言語教育政策。

本挨拶の始めに基本は青

木前学部長以来の路線を継承と申し上げましたが、今

後の重点課題としては、北大的入試制度改革とも連動した学部カリキュラム。授業法の改革、着手した臨床

心理士コース（大学院）開設の実現、大学院の国際化（留学生の拡大など）およ

び全体の国際交流の活発化などがあります。基本路線をこれらの中で具体化していくことになります。

全教同窓会

教育学部の「還暦」と同窓会



教育学部同窓会長（59年卒 教育史）

竹田正直

1. 学部の還暦を祝う

私たちが学んだ北海道大学教育学部は、今年、学部創立六〇周年、人間で言うなら「還暦」を迎えました。

過日、所伸一教育学部長は、「本年は教育学部が昭和二四年六月一日、北海道大学に創立されてから六〇年を迎えます。発足以来、多くの優れた人材を広く世に送り出すとともに、学術研究の面においても、教育現象を科学的・実証的に解明して参りました。また、地域社会に対しても様々な形で貢献してきたと自負しております。近年の経済状況を考慮して、同窓会として特段の募金はせず、祝賀会の会費も札幌のホテルとして抑えていますので、同級生や友人を誘って一人

そのご功績に心より感謝しつつご冥福を祈ります。

教育学部同窓会の初代会長をながくつとめられた木藤茂男さん（教育学部一期生）が本年五月他界されました。この場をお借りし、

北大教育学部長以来の路線を継承と申し上げましたが、今後の重点課題としては、北大的入試制度改革とも連動した学部カリキュラム。授業法の改革、着手した臨床心理士コース（大学院）開設の実現、大学院の国際化（留学生の拡大など）および全体の国際交流の活発化などがあります。基本路線をこれらの中で具体化していくことになります。

交流会館）、祝賀会（午後六時より、京王プラザホテル札幌、会費五千円）とを各界にご案内しております。

私たち北大教育学部同窓会も、役員会での討議を経て学部創立六〇周年行事に全面的に協力することとし、齊藤彰幹事長を中心に学部の担当教授や事務と打ち合わせをしてきました。同窓会会員の皆様には、記念式典や記念シンポジウム（テーマ「教育学研究と教育学部の課題」、パネリストは、高村、諸富、杉村、森谷各名誉教授）へのご参加とともに、祝賀会へのご出席を切にお願いいたします。

とくに、祝賀会は教育学部と私ども教育学部同窓会との共催とし、同窓会の例年の総会後の懇親会を祝賀会と兼ねることにしております。祝賀会の財源は、基本的に会費ですが、最終的な財政負担は同窓会が負っております。近年の経済状況を考慮して、同窓会として特段の募金はせず、祝賀会の会費も札幌のホテルとして抑えていますので、同級生や友人を誘って一人でも多く参加し、ご支援ください。全体として百名、大正門より入り左手の学術記念シンポジウム（午後二時三〇分より、いずれも北大正門より入り左手の学術

参加を目指しております（

案を基礎に国立教育研修所で夜を徹して討議したそうです。城戸先生は、ご自身も当然、「初代学部長」と

して赴任する予定でしたが、戦前、教育科学研究会の活動で軍部から弾圧を受けた城戸先生に対して、占領軍は、なんと城戸先生が軍部に協力したと疑い公職につけない状況に追い込まれたのです。そのため、城戸先生の着任が二年間遅れたのです。いうまでもなく、教育学部の最初の基本骨格は城戸先生が中心になって立案されたのであり、これまでも、「実質的に初代学部長ともいえる城戸幡太郎先生が……」という表現はありえたのですが、公的には「二代目学部長なのです。

一九四八年一一月から、学内で教育学部設置準備がはじまり、国立教育研修所（現在の国立教育政策研究所）所長であった城戸幡太郎先生に「初代学部長」として学部・学科・講座内容構成の検討も含めて北大から依頼されました。当時、同所員であった鈴木朝英先生から生によって検討、立案された、いわゆる「城戸構想」について、鈴木朝英先生から生前に、茶色に変色した西洋紙にガリ版刷りで印刷したものを見せてもらいました。

構想は、一四学科、約一五〇講座という膨大な構想でした。当時の北大工学部

のおよそ一倍の規模であり、実現されれば学内最大規模になるものでした。（①教育学を実証科学とすること、②北海道をはじめ地域社会の発展へ貢献すること、③あらゆる関連諸科学の研究成果を駆使して新しい教育学を構築することを、また、④その新しい教育学にふさわしい学生、大学院生、社会人を教育することを構想していました。

一四の学科は、教育計画科、教育史学科、産業教育学科、生活教育学科、社会教育学科、学校教育学科、教育制度学科、特殊教育学科、衛生教育学科、教育施設学科、芸術学科、体育学科、学科、芸術学科、体育学科、教育学科、学校教育学科、職業学科、家政学科です。（『北大百一十五年史』通説編、二〇〇三年、三八七頁）各学科に一〇講座前後が構想されましたが、とくに、芸術学科、体育学科、職業学科、家政学科では、それぞれの専門家養成のみならず、当時、学芸大学での養成では不足していた音楽、体育、職業指導、家庭科などの学校教師の養成をもめざしていました。

しかし、文部省は、教育計画、教育史学、産業教育、生活教育、社会教育、学校

教育、教育制度、特殊教育を、学科ではなく講座とし、初めは八講座しか認可しませんでした。そのため、城戸学部長および教授会は、学内の各学部で充足されていない教授ポストを借用して、文部省の認可を待たず、衛生教育、体育、芸術、とくに音楽の教授を採用したのです。私は、教育学部七期卒業生ですが、同期生には音楽専攻の学生もおりました。当時、教育学部の本館は、現在の大学院地球環境科学研究院のある場所にあった旧土木専攻の一階建ての趣のある建物でした。そこにもピアノがありましたが、もとと沢山のピアノは音楽専攻の教室となっていました旧中央講堂（現在のクラーク会館前にあった）の中にありました。体育馆は、木造で床は波打ち、体育教育の教室は、現在の官室は近くの柔道場を併設した建物にあり、心理や衛生教育の教室は、現在の薬草園や大型計算センター近くの木造平屋建ての中にありました。そこには、教室もあり、また、学生の自由閲覧可能な本を備えた学習室や学生控室もありました。ゼミ室はなく、ゼミは教官室で行われていました。

教員が約三〇名、職員が約二〇名、学生が三年と四年で五〇数名、大学院生は一〇名ほどで、こじんまりした家族的な雰囲気の漂う学部でした。大部分の同窓生にとっては、今日の大学院教育学研究院・大学院教育学研究科・教育学部という新たな制度改革とともに、大学院生数の急激な増大と一年から学部生となり数倍化したこと、女子学生や留学生、社会人学生、院生が増大したこと、教員数の一 定の増加と職員の減少に驚かれることでしょう。

水曜日の午前七時半から京
ラレた人も、第二の職場や
王プラザホテル札幌で、文
業した同期生の朝食会「3。
4エルム会」に参加してお
りますが、元気な教育学部
の同窓の小島さん、越田さ
ん、大野さんらにお会いで
きることを楽しみにしてい
ます。

以前、多米豊教育学部同
窓会前会長が、学部の卒業
祝賀会で、「北大教育学部
の同窓生は実に多様な分野
で活動していますが、共通
しているのは、子どもたち
や人間にたいして発達や成
長という観点から暖かく見
つめる資質を共有している
ことです。」と述べたこと
があります。まさに、その
とおりだと思います。この
ような人間への暖かい発達
的なまなざしが基礎となっ
て、直接、教育にかかわら
ない分野をもふくめて大多
数の同窓生は、周囲の大き
な信頼を克ち得て活躍して
おります。

しかし、他方で、学部が
六〇周年を迎えたことは、
司憲生の最高齢は八〇歳に

残念ながら、中にはご病気の方が、そして、時に悲しみの訃報を受け取ることがあります。若くして亡くなつた教え子の訃報はとくに悲しいものです。

この一年、日本を代表する作曲家の一人として全国的、かつ世界的にも著名な廣瀬量平さん（一期生）が亡くなりました。学部創立五〇周年には記念講演をしていただいた方です。また、同じ一期生で、二二六年間にわたって初代教育学部同窓会長を務めてくださった元札幌児童相談所所長の木藤茂男さんが急逝されました。残念でなりません。さらに、私と同級生であった岩井靴店会長で懶ニッセンレンライフ代表取締役社長岩井さんも今年逝去され、道内外での経済界での活躍を反映し札幌パークホテルでの葬儀には千人ほどの参列者がありました。

また、つい最近、大学院修士課程でアイヌの民族音楽を研究した元北海道教育大学学長の谷本一之さんが急逝されました。無くなる二週間ほど前に、電話で同窓会にかんすることでお話し、とてもお元気な声で、

私事ながら、妻勝子がへ年三月一七日に肺がんのため亡くなり、同窓会の皆様の多数のご参列、とくに役を、所伸一現学部長に懇意に見勝亮北大理事・副学長は多忙のなか葬儀委員長の藤彰幹事長には同窓会として種々のご配慮をいただきこの場をかりて同窓会の様に深謝いたします。過日ご献花料への感謝をこめて母校の小樽潮陵高校、藤女大学や北大フロンティア基金その他への募金をさせていただきました。

理事室から(11)



‘66年卒 教育史

逸見勝言

院生からの質問や意見などを
のチャレンジを通じて知り
うことでしょう。
数年前から導入された、
卒業式で卒業生の中から選
ばれる「学年幹事」のおか
げで同窓会にも若い同窓生
が参加するようになってき
ています。この流れを大切
にして同窓生相互の親睦と
学部の発展への支援に協力
してゆきましょう。その際、
あくまでも学部現構成員の
自主性を尊重し暖かく見守
り、要請があつたことへは
全力で支援することが大切
でしょう。今回の九月二六
日の学部創立六〇周年記念
行事への参加と支援にぜひ
ご協力下さいますよう、重
ねてお願ひいたします。

ガラが巣を懸けたのを見た。
◇理事室に入ってしまった。教育学部へ行くことはままならぬ。教育学部の教員とは所。小内さんと月一度の会議で会う程度であり、通りがかりに立ち寄っても知る人も稀である。

◇今の行動半径は小さいので、卒業生と会う機会は減った。お茶の水女子大学で先の皇后行啓記録を複写した。帰路、筑波大学（大塚）に勤務する廣瀬雅哉さんを訪ねた。元気。新潟で小野塚恒夫・栄子夫妻と会った。

【会津若松へ案内する】と麦です」と譲らず、「会津は雨、最初で最後の我が儘を許されよ」と僕。運転するのは彼なのだが、聴いてもらつた。漬物石に丁度いい「翡翠」を見つけていたのは、笑っていただけの栄子さんだった。四つ割にして磨いて贈ると約束してある。恒夫氏は毎日北大のホームペー

ジを開いている由。平出修士で『明星』『スバル』に拠った歌人・作家で、沖野

岩三郎と与謝野鉄幹の依頼で「大逆事件」被告高木顕明・崎久保誓一の弁護人となつた。石川啄木が彼から

裁判資料を借りて筆写した。春秋社、一九八八年）は刊行時に購入してあつたが、

このほどようやく読み終えた。彬は修の三男。修が上杉慎吉と渡りあつたことも記されていた。上杉慎吉の次男が我が師上杉重一郎。

歌碑は見つけられなかつた。

◇理事室への来訪者は、吉川理香・小川正人・植田理子・大友かおり・辻英之・

NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター（長野県泰阜村）代表理事を務めている。同センターの

「へき地山村」という『場』の教育力をいかした体験活動の実践」は「第五八回読売教育賞最優勝賞」のひとつに選ばれた。彼のだみ声

はいつ聞いてもほつとする。

◇米内山康嵩・林大輔・奥山友貴さんらとアスティの

居酒屋で、例によつて失恋談議。小川正人・細川美香子・涌井寛之さんらとは帶

庄駅で、吉村典子・三井登。

伊勢正明さんらとは別の日

に帯広で、菊池浩光・前橋智美さんは事務局前で、

川俣智路さんは図書館前で、山田敏之さんと中江悟司・太松絵美・大西純子・

牧孝幸・朝田利恵・山下直樹・坂内仁・前田彩美・中野恵さんらとは結婚式で、

水上しほり・宮田麻理子さんとは千歳空港で、高橋道裕・三浦英典・笛原晶博・栗原憲明らとはあれこれの祝賀会で、新聞社カメラマン岩崎勝さんとは入学式で会つた。僕の同行者は「顔が広い」とからかつたが、小川・細川・涌井さんらと同じ日に出づくわしたのである。僕も驚いた。

◇細田孝哉さんの投書が『朝日新聞』に載つた。趣旨は中央教育審議会会长

が広い」とからかつたが、小川・細川・涌井さんらと同じ日に出づくわしたのである。僕も驚いた。

◇研究室にあつた書物の大半は譲るか捨て、書斎も整理しつつある。未読のまま捨てる事はできないので、

佐江衆一『幸福の選択』、『葉山嘉樹日記』、ボーグ

ワール『戦日記』、内田百聞『戦後日記』などを、

眠れぬ夜に読んだ。先述した『平出修伝』もそのひとつ。佐江衆一は『黄落』で

その数日後には深紅のバラ

も。総長車運転手Tさんが

今朝のバラは似合つてしまひよ。

◇四国学院大学に勤めていた竹ヶ原幸郎さんが亡くなつた。彼は教育実習先の生徒であった。アイヌ教育史研

究の先達で、教育学部博士課程社会人入学第一号である。大脇敏武さんが亡くなつた。卒業後に会う機会がな

いまま訃報が最新の消息となりました。大脇敏武さんが亡くなつた。卒業後に会う機会がな

たよ。」

◇これも七月のある朝のこと。正門で車輛入構整理に当たつているガードマン氏

曰く「旅行者からよく質問されるんです。学内に何本かありますよ。」「あそこにあるの

もそうですね。では、あれはイボタ。何でも訊いてください。」

◇ハシドリは、ドスナラとも呼ぶ北海道の木、水に強いので、アイヌは家の柱に用いたと本には書いてあります、イボタ（西洋イボタ）と親戚で、よい匂いがします、などと蘊蓄を垂れた。後日『北海道樹木図譜』から関係部分の複写を進呈した。

◇雨後のミミズの死骸を味悪がっている小学生は、小枝にもおびえる。僕の通つたあとについてくれば、と道案内をする。五〇メートル先から、口笛に応えて、吠えながら走り寄つてくる

ボメラニアン系雑種の「ボアロ」。既に見知った学生はほぼ皆無となつて久しい、

て遠回りしながら僕に近寄ってくるではないか。僕はもちろん自己紹介をしてから、「君はいくつ、名は何というのか、どこへ行くのか」と問う。飼い主は「二歳になつてから人に近づくのは珍しい」と。



特別寄稿

北海道中央児童相談所所長
大場信一

北海道大学教育学部同窓会報への寄稿依頼文が届きましたので、私は同窓生でないことを説明しお断りの連絡をするつもりでいました。まもなく同窓会事務局長の斎藤さんからお電話をいただき、二〇〇九年三月十九日に開催されました北海道大学教育学院・教育学部「教育フォーラム」において話したことなどを寄稿してほしいとのことで、二十数年と一番長く先輩、了解したしだいです。

私は北海道職員となつてからは、児童相談所勤務が二十数年と一番長く先輩、募集要項や学部案内等に掲載されているような模範回答が多いので、何を自己実現したいのかが響いてこな

いように感じています。
私は児童相談所という現場の職員として、これからは大学・大学院とともにできることはないのかを問い合わせています。少しずつではありますのが大学、大学院、専門学校との協働、連携と言えるものが始まっています。一つには実習・演習の場として、社会福祉援助技術現場実習、臨床心理士実習、小児看護福祉論実習（子ども虐待とトリアージとの関連）の取り組みがあります。大学等との間で協定を結び受け入れています。

二つ目として、共同研究への参画があります。現在でも、厚生労働科学研究、文部科学研究、明治安田ころの健康財団研究、社会技術研究開発センター研究プロジェクトの分担研究者、研究協力者として参画しているほか、北海道中央児童相談所が発行している児童相談所研究紀要の分担執筆などがあります。三つ目としては、単年度更新となりますが特別職非常勤としての職員採用があります。児童相談所一時保護所における保護指導員、一時保護（虐待通告）対応協力員と

して、多くの学生が職務についています。また、不登校児童への対応のひとつであるメンタルフレンドにも多くの学生が登録されており、児童及び家族との同意が得られたケースに派遣しています。また、一部ではありますのが大学への講師派遣をしており、定期的ではあります、ゲストスピーカーというかたちで行っている例もあります。

今後のことについて考えてみると、児童相談所はその日々の新しい、困難な児童家庭福祉の問題についても直面し、問題への理解とその対応等について科学的な裏付けも求めらるようになってきています。このようなことに応えるものとして、大学におけるリカレント教育や大学と現場との相互交流が実現できないものかと考えています。また、今後は大学教員として転出することもでてくるのではないかでしょうか。

最後になりますが、多くの学生が北海道職員（上級・社会福祉）採用試験にチャレンジしてほしいと願っています。

北海道の児童相談所には一時保護所が設置されています。一時保護の主な機能は緊急保護、行動観察、短

期治療になりますが、昨今、虐待を受けた子どもや発達障害（疑い）の子どもたちもたちに関わってみませんが、自分自身が出会った人という限定された中での話しになれることは当然ですが、学部生は何を目指しているのだろうか、よくわからないといいうのが実感です。学ぶうちには明確になっていくこともあります。大学等との間で協定を結び受け入れています。

二つ目として、共同研究への参画があります。現在でも、厚生労働科学研究、文部科学研究、明治安田ころの健康財団研究、社会技術研究開発センター研究プロジェクトの分担研究者、研究協力者として参画しているほか、北海道中央児童相談所が発行している児童相談所研究紀要の分担執筆などがあります。三つ目としては、単年度更新となりますが特別職非常勤としての職員採用があります。児童相談所一時保護所における保護指導員、一時保護（虐待通告）対応協力員と

して、多くの学生が職務についています。また、不登校児童への対応のひとつであるメンタルフレンドにも多くの学生が登録されており、児童及び家族との同意が得られたケースに派遣しています。また、一部ではありますのが大学への講師派遣をしており、定期的ではあります、ゲストスピーカーというかたちで行っている例もあります。

今後のことについて考えてみると、児童相談所はその日々の新しい、困難な児童家庭福祉の問題についても直面し、問題への理解とその対応等について科学的な裏付けも求めらるようになってきています。このようないに応えるものとして、大学におけるリカレント教育や大学と現場との相互交流が実現できないものかと考えています。また、今後は大学教員として転出することもでてくるのではないかでしょうか。

最後になりますが、多くの学生が北海道職員（上級・社会福祉）採用試験にチャレンジしてほしいと願っています。最近では合格者のほとんどが児童相談所を北海道職員スタートの職場として活躍しています。支援が必要とし待っている子どもたちは、いまなお国道が走らず、コンビニはおろか信号すらない。自治体財政は厳しく、高齢化や若者の流出には歯止めがかからず、村民はこの村の境遇を毎日嘆き、「この村にい

かと、同窓会の皆様からも是非声をかけていただければ幸いです。

小さな教育方を評価することに野心的である

93年卒 体育方法ゼミ 辻英之

最優秀賞。この国最高の教育賞といわれる読売教育賞の地域社会教育活動部門で受賞した。大学を卒業してすぐに就職したNPO法人グリーンウッド自然体験教育センター（長野県泰阜村）の取り組みが対象だ。私はこのNPOの代表者である。その取り組みを若干紹介したい。

長野県南部のへき地泰阜村。人口二〇〇〇人を切つたこの村は、いまなお国道が走らず、コンビニはおろか信号すらない。自治体財政は厳しく、高齢化や若者の流出には歯止めがかからず、村民はこの村の境遇を毎日嘆き、「この村にい

下部構造とか)当時日本はバブル以前。「パイを大きくしてみんなが豊かになつてできた」と思われていた時代だけに、「マルクスなんていまどき流行んないよ」と思っていました。しかし、貧困や格差の拡がる現代にこそ生きる理論なのですね。やるなあ社教ゼミ!

現在、私は縁あってワインショップで働かせていただいております。ワイン販売の他、ワイン会を企画・運営して、お客様に喜んでいただくのも楽しい仕事です。(要するに宴会のセッティング)店ではオーナーの意向で、主にフランスとイタリアの「自然派」といわれるワインを扱っています。

ヨーロッパでも、一九六〇~七〇年代に日本の「農業近代化」と同じようなことがなされました。ワインの産業化に伴い、廉価なワインを大量に造る目的や農薬会社の思惑があいまって、葡萄畑が化学肥料・農薬漬けになります。また、変質を防ぐために体によくないいろいろな添加物を加えたりして、健康で美味しいうワインが造られなくなり

ました。(ワインで悪酔いするのはその為。良いワインはいくら飲んでも一日酔いになりません……もちろん限度を超えない)しかし近年、そんな現状に危機感を持った若手生産者が手をかけて健康な畑を作り、収量を抑え、できるだけ自然な醸造法で大地の力を引き出すワインを造りだしています。

ボルドーの著名シャトー・ゴシアンはさておき、「自然派ワイン」の造り手の多くは、資本力のない家族経営の小さな農家。中には、協同組合を作つて収穫や醸造の作業、機械や施設を共有してやりくりしているグループもあります。

私のお気に入りは、フランス南部コート・デュ・ローヌ地方の「エスティザルク協同組合」。九名のメンバーで、旨安ワインをたくさんリリースしています。二九〇円でかなり美味しいのが手に入りますよ!

まさに「協同組合論」の実践バージョンです。

こちらも、社教ゼミで学んだときは「協同組合ってなんかグサインじゃない?」と思つていましたが(山田

先生すみません)、最先端の、力ある理論なのだからと今改めて思います。

販売の仕事に携わるうえで、社教ゼミで培われた力も役に立っています。

大量生産・廉価の商品の裏では、必ず誰かが泣いています。

・まつとうな対価を払つて、ほんとうにあってほしいものにお金を使うことが皆の豊かさにつながる。

そんなことを考えながら、今日は楽しくワインを売っています。

卒業から二〇〇年



90年卒 特殊教育ゼミ

矢 橋 佳 之

その後は、また大学とは疎遠になつたのだが、同期の近藤さんが准教授として戻つてこられたこともあります。ごく最近になつて大学との距離が再び近くなつた。

学部紹介パンフレットに寄稿させていただく機会をいたしたり、(姪がオーブンキヤンバスで手にし、ブンキヤンバスで手にし、突っ込まれたりしたが。)

近藤さんの教職をめざす学生相手の授業で、話をさせていただく機会をいただいてもいる。昨年度は、当時の上司から薦められ、教員対象の公開講座を受講させていただき、月に一度大学に通つた。そこで久々にお会いした青木学部長から声をかけていただき、学部が今後どうあるべきかについて考えるシンポジウムにまで参加させていただいた。

大学時代の問題児が相変わらずお世話になつてゐる時代。懐かしいでばかりだ。

卒業から二〇〇年。独立行

理学部は北大総合博物館になり、文系長屋の真ん中に新しい文系棟が建つていて、前者での山岡先生(ドイツ文学)、後者の城戸先生(教育哲学)などの影響がしっかり息づいていることを私達は感じていたものでした。

彼を熟知しない同窓の方のために、彼の世俗的な経歴を略記しておきましょう。

旧制北海道大学予科に入学、北海道大学の新制第一期生として卒業、其の後、東京芸術大学に入学、同専攻科を卒業し、一九七七一一九九年まで京都市立芸術大学教授、その間同大学音楽研究室科長、音楽部長を歴任しました。傍ら、ザルツブルク・モーツアルテウム音楽院、ドイツ・エッセン音楽大学大学院、国立音楽大学、同志社女子大大学院、東京芸術大学等で講師として教鞭をとりました。一九八四一九八八の期間、日本現代音楽協会委員長、また、二〇〇〇一九〇〇四の期間、京都市立芸大伝統音楽研究センター初代所長、二〇〇五年より京都コンサートホール館長を歴任し、こ

⑤欠席の方も近況報告を下欄にご記入下さい
来年の「たより」に特別掲載の予定です。

住所

氏名 廣瀬 昌平 (西暦 1953 年卒)



樂も彼の旋律でした。函館の人々にはゴミ収乗車の信号や大型外航船の入港の歓迎に用いられる彼の「函館贊歌」の旋律は生活の中に深くしみ込んでいることでしょう。

一〇〇三年、創立百周年を迎えた九州大学は記念作品を彼に委嘱し、「新大学祝典序曲」が生まれました。もちろん、ブームスの名品「大学祝典序曲」を意識しての曲です。彼の精神の生成に深い極印を刻んだ北海道大学はさらなる「新。新大学祝典序曲」を生む契機たり得だのではなかったかと彼の早世が残念です。

彼の人生の一面として親分肌と言うのはちょっと彼のイメージとは一致しない

と言われますが、人生の転機で彼によって助けられた人が実際に多いのも驚くほどです。私が一九五六年から数年間米国の大学院で学んだことも彼の助けがなければ実現しなかったことですし、教育学部の第二回生の佐藤昌之北海道教育大名譽教授が最近道新に連載されていた「私の履歴書」で似たような彼の尽力を記していました。教育を人間の錯綜した営みの中にとらえて実行した彼の生涯は北海道大学教育学部の建学の精神の具現として偲ばれるところです。

合掌

木藤君の死を悼む

臨床心理一期生

熊谷 靖夫

一期生(昭和二八年卒業)は一〇名しかいないが、その殆どが学芸大学の各分校からの編入生である。学部長に城戸幡太郎先生が就任されることを知り集まつた人達であった。木藤君と私は三人の先生がおられる奥田先生の研究室に所属した。卒論のため美香保中学校に新設された特殊学級で心理テストや学力テストなどを実施して教育の効果をまとめることになり、一緒に何度も同校に出向いた。親しくなったのはこの頃からである。

彼は卒業と同時に北海道中央児童相談所に就職し心理判定の仕事に従事した。岩見沢や函館の児童相談所を経て、釧路の児童相談所長に昇任した。昭和四七年札幌市が政令指定都市になるのに伴い、市立の児童相談所が設置されることになり、その初代所長として迎えられた。彼は児童の人権を尊重し、子供の幸福を考えた対応をしていかなければならぬと、いつも言つ

投稿

これが「北大」なのか

58年卒 学部

加藤 多一

もちろん「歴史」は観光資源である。しかし、そのためには、「歴史観」が確立していかなければならない。

「クラーク像」や「古川講堂」と並べて、アジア太平洋戦争の最高最大の責任者だった存在(人間)の「遺蹟」をこのように大宣伝すること、それは北大人の「恥」でなくて何だろう。

この印刷物の発行のための予算措置や発行責任。発行の意図はどうなっているのだろう。

教科書検定のたびに「歴史事実」をかくしたがる文

ていた。児童相談所の基礎作りと業務の充実を図り、児童福祉行政に大きく貢献し、昭和六二年退職した。

退職後は深川市にある拓殖大学の児童教育科の教授として幼稚園教諭や保育士の養成に尽力した。また同じ頃札幌家庭裁判所の家事調停委員として離婚や相続などの家事事件の調停にあつた。さらに北海道いのちの電話の理事として今まで勤めた。余談になるが私は彼のすすめで平成三年から一〇年間家事調停委員を務めた。

一期生なので卒業時は同窓会がなかったが後日有志が相談して会を設立し、彼が初代の会長となり二六年間会の発展に寄与した。昭和六一年糖尿病を患い入院した。彼が病院から電話で「保証人が必要なので印鑑を持ってきてくれないか」と言うのですぐ出向いたことを思い出す。その後彼は好きなお酒を一滴も飲んでいた。そして昨年からは夜の外出も避け、私と会うのも昼だけにしていた。かくの如く健康に気くばりし人々や心ある外国人の人々に受けとられる。これが世界に開かれた大学なのかな

の集まりがあり、それに出席した帰り、午後九時半頃真駒内の自宅近くの道路を横断中にはねられ大怪我をした。入院し治療を続けたが五月二八日夜帰らぬ人となつた。直接の死因はM.R.S.Aによる敗血症ということだった。義理がたい彼の性格が事故につながったのではないかと悔やまれてならない。よき友をもつたことを幸せに思う。安らかな眠りについて下さい。

合掌
——私は恥を感じる。
リーフレットの現物を見よう。

「聖蹟碑」の説明→「一九三六年北海道で陸軍特別演習が行われた際、農学部に「大本營が設置され、天皇陛下の行在所(仮御所)となつたことを記念する碑」/翌一九三七年除幕、日高産の拓石制作

拓殖大学の学生寮の関係者

の集まりがあり、それに出ていた。児童相談所の基礎作りと業務の充実を図り、児童福祉行政に大きく貢献し、昭和六二年退職した。

退職後は深川市にある拓殖大学の児童教育科の教授として幼稚園教諭や保育士の養成に尽力した。また同じ頃札幌家庭裁判所の家事調停委員として離婚や相続などの家事事件の調停にあつた。さらに北海道いのちの電話の理事として今まで勤めた。余談になるが私は彼のすすめで平成三年から一〇年間家事調停委員を務めた。

一期生なので卒業時は同窓会がなかったが後日有志が相談して会を設立し、彼が初代の会長となり二六年間会の発展に寄与した。昭和六一年糖尿病を患い入院した。彼が病院から電話で「保証人が必要なので印鑑を持ってきてくれないか」と言うのですぐ出向いたことを思い出す。その後彼は好きなお酒を一滴も飲んでいた。そして昨年からは夜の外出も避け、私と会うのも昼だけにしていた。かくの如く健康に気くばりし人々や心ある外国人の人々に受けとられる。これが世界に開かれた大学なのかな

○変わりなく過ごしていま
す。

菅 洋一（06年卒）札幌市東区

になりました。日教組にも加盟し、城戸先生らが作られた教育基本法改悪反対闘争にも取り組んできました。しかし定年を前に力及ばず教育基本法は改悪され「愛国心」が復活、業績評価、教員免許法などで国家主義教育体制が強化されつつあります。現在、再任用教員として引き続き闘いを堅持

八尾 崇寛（07年卒）函館市

○当日は別の会合に参加しますので出席できません。

今年はモンゴルよりハグループの北海道視察団を招聘しました。私も一緒に学校を回っています。

○身体不自由につき欠席さ

部で得たエッセンスが残っています。○九年四月から札幌自由が丘学園三和高校長として数年間がんばります。○「同窓会だより」毎号桂川市西区
見しています。体調の関係で欠席しますが、よろしくお願いします。

○毎回欠席で申し訳ありません。御盛会をお祈り申し上げます。八月初めに「布施先生を偲ぶ会」があり、札幌に行く機会がありました。

○同窓会だより楽しく拝読しました。ありがとうございます。総会懇親会の盛会

しながら見守る日々を送っています。皆様のご健康とご盛会をお祈りします。

中村 佳代子（旧姓・小寺、84年卒）札幌市北区

○この四月から札幌学院大学の特任教授として勤いています。特別支援教育の新課程設置のために三年間勤く予定です。

伊藤 則博（62年卒）札

○お元気ですか？ 青木先生が学部長になられますと期待しております。私は今春より浜松医科大学へ赴任しました。来年の結婚式には学部長出席してください。お待ちしています。

古本 尚樹（01年卒）札幌市北区

○高等学校で外国語と登山を教えています。好きなことを仕事にできて感謝の日々です。

佐々木 亮介（00年卒）上川郡上川町

○在学中、学園紛争が起き、人生観・世界觀を揺さぶられました。卒業後、東京で城戸幡太郎先生のお世話になり、また事務所の小原瑞恵さんにもお世話になり、千葉で高校の世界史の教員

(城戸幡太郎)。
火を吹きおこす夜寒かな」

渡部 秀清（72年卒） 東京都杉並区

○先日の飲み会で、平成六年卒の實平奈美さんが、藤女子大文学部の教員で、しかも学士会の会員であることを知り、大変うれしくなりました。後輩の今後のご活躍を期待しております。

黒川 昭和（55年卒） 小樽市

○お世話になります。

浜田 育（56年卒） 東京都狛江市

○教育の現場に来て三年目になります。教育相談を行う度に、子供の魂を救う、救えなくとも光明を見出させるには、マクロな政策論とか、ミクロに個人の内面に迫るか、貴会のご発展を祈念申し上げます。

了後も、言葉の由来を辿つて、原稿を書き続けています。興味を持ち続けることが元気保持のもとと考えています。継続は力となれば良いのですが……。

藤谷 築也（54年卒）札幌市厚別区

○元気で地域の役をいろいろ引き受け、多忙に過ぎしております。ご盛会と同窓会の益々の発展を願っています。

鈴木 尚（56年卒）京都府市

○現在五六歳、そろそろ転機を作るべき時期になりつつあります。元気でやっています。

高橋 則克（78年卒）札幌市西区

○私は古希をすぎた今も教育の仕事についています。

大学時代、恵迪寮や教育学

○体調不良のため欠席します。」
幌市白石区
幌市中央区
○法政大学の大学院で社会福祉を学んでいます。修士論文の指導は何と杉村宏先生にお願いし、目下研究の日々。来年の一月に論文をまとめる予定であります。
竹下 忠彦（82年卒）東京都町田市
○このところ年齢のせいかな過去を振り返ることが多くなった様に思います。大学の青春時代が懐かしく思い出されます。「とりあえずビール一本、酒二合、今日の気分はお湯割り少々」道又先生、町井先生、木村先生によるるしく。
三村 道丸（78年卒）札幌市白石区

市 前田 憲（64年卒）名寄

○今日は同期の所先生がミニセミナーをするので出席したいのですが、診療所が土曜日も午後診療のため出席できません。残念です。

齊藤幹事長にはいつも何から何までお世話になり感謝しております。

市 鈴木 泰（71年卒）恵庭

○欠席常習者にもかかわらずご案内いただき有難うございます。秋季大学バレーボーリューリーグ戦監督として出張中です。

花田 徹夫（56年卒）札幌市東区

○関先生の訃報に接し、学生時代のゼミの時の明るい笑顔をなつかしく、悲しく思い出しております。私は身は高三の息子をやきもき

○毎年ご一任でお世話になります。教育学部の益々の発展を念じています。

早川 和雄（56年卒）小樽市

○話題いっぱいの同窓だより、編集ご苦労様でした。懐かしい人達の思い出と現在の奮闘ぶりが伝わってきます。

須田 力（66年卒）札幌市東区

○幹事の皆様ご苦労様です。

長尾 肇（65年卒）札幌市北区

○幹事役、お疲れ様です。

会報もなかなか立派で感心しています。

多米 豊（54年卒）札幌市西区

○同窓会総・懇親会で、卒業生の皆さんと再会できることをいつも楽しみにしております。

竹田 正直（59年卒）札幌市北区 ○遠方のため全く出席できず残念です。今後も虐待臨床の現場にどうぞお手を貸していただけますと幸いです。

葛岡 誠一（67年卒）札幌市清田区 武田 達也（83年卒）長野県岡谷市 ○昨年完全リタイアして、世界一周船旅をし、今時間はあります。しかし、六日に通知が来て土日開催では無理です。来年は出席するつもりです。早目に通知下さい。

藤森 幹夫（61年卒）静岡県伊豆の国市 ○いつも欠席で申し訳ありません。私は元気で過ごしております。ご盛会をお祈り致します。

坂本 育美（06年卒）札幌市白石区 ○いつかまた北大のキャンパスを歩きたいと思いながら、部屋にはいまだにキャンパスの地図を貼っています。関先生のご逝去はとても残念でした。

佐々木 瞳（旧姓：簗原、90年卒）広島県尾道市
○今も現役で女子大に勤務しています。ご盛会を祈ります。

小林 剛（60年卒）兵庫県西宮市
○会報二六号、拝受しました。竹田会長はじめ会運當の労をとられる方々のお陰です。ありがとうございます。
伊藤 博（55年修士修了）札幌市東区
○八十路を前に「区」の体育関係にちよいと手を出したのがたたり、体育祭（一
日目・二三日）に借り出されてしまい、せっかくの「同窓会」に出席できませ
ん。ご盛会を祈ります。

大國 拓哉（55年卒）埼玉県さいたま市
○同窓会のご盛会をお祈り致しております。

山田 定市（元教員）札幌市東区
○初めて北大の外でこのた
よりを受け取り、なんとも形容し難い気持ちになりました。僕が敬愛する先生方
は、①面白い授業をし②面白い研究をし③そこかしこで学生と語り合っていまし
たが、自然体で③を日々実現するのは思いのほか難し

い（もちろん①②が簡単だということではありません）。なって知る先生の偉大さです。総じて素直で大人しい学生たちと楽しく英語を学んでいますが、学部ロビー やゼミ室のあの空気はまだまだ醸せいません。これからとばかりにとりあえず毎日学内をぶらついています。

亘理 阳一（02年卒）静岡県袋井市

○いつも欠席で申し訳ありません。現在味の素㈱から味の素健康保険組合に出向し、常務理事をしておりま

す。

牛島 康明（74年卒）千葉県千葉市

○卒業後二〇年近く生活保護の仕事に携わった後、高齢福祉（在宅支援策、認知症対策）、生活保護（医療扶助適正化対策）、障害者福祉（在宅支援策）と次々と事業担当として関わり、今まで生活保護の現場です。

田中 稔久（83年卒）兵庫県神戸市

○静岡県で小学校の教員をしています。現在は、特別支援学級の担任です。

勝又 圭伊子（81年卒）神奈川県足柄上郡松田町

○猫の額の畑を借りて野菜作りに初挑戦。意外に良く

出来たのは、サニーレタス
玉葱、ズッキーニ等々。一
両日中に薩摩芋を掘りに行
きます。土にまみれて元気
です。皆様の平穏無事をお
祈ります。

桜田 嘉子（56年卒）札
幌市厚別区

○定年までコーブさっぽろ
で働いていました。その後
㈱箱根牧場・札幌学院大生
協・現在ゴルフ場（ゴルル
ドカントリークラブ）で働
いています。皆様の活躍を
いつも「同窓会だより」で
拝読しています。同窓会に
参加できずすみません！

三宅 熱（69年卒）北広
島市

○毎年たよりが届くのを心
待ちにしております。事務
局の方に感謝です。

杉山 昌夫（83年卒）埼
玉県さいたま市

○退職後復活した登山。良
い仲間に恵まれ、今も日高
の山などに登り、山頂で乾
杯をしています。七十路の
後半に入り、今しばらく人
生に乾杯をと願うこの頃で
す。

橋内 哲也（55年卒）札
幌市厚別区

○盛会をお祈りいたします。
丁度学園の利用者と洞爺湖
から室蘭への「五〇キロ走

○同窓会だより、楽しくなつかしく読ませて頂きました。一層の発展を願っています。男声合唱も続けています。

板橋 菊一（65年卒） 岩見沢市

○同窓会だより、楽しくなつかしく読ませて頂きました。一層の発展を願っています。男声合唱も続けています。

唐津 愈（54年卒） 札幌市中央区

○ご案内ありがとうございます。同窓会だよりをいつもなつかしく読ませて頂いています。まだ現役ですで、休んで京都を出られません。

太田 亮平（69年卒） 京都府京都市

○公立、私立学校教員一筋四六年、初志貫徹。平成五年三月退職、以後年金生活。

大居 健一（57年卒） 札幌市厚別区

○晴耕雨読、簡法につとめ、悠々自適の生活で、七十路の旅をエンジョイしておられます。盛会をご祈念申上げます。

堂本 勇（55年卒） 札幌市北区

○同窓会兄姉のご多幸とせてご盛会を祈念致しております。

本間 實（55年卒） 旭川

○私がかかわる仕事の一例ですが、産学連携の実践例交流会を、北大構内の北シナプラザ北海道で開催しました。冬に人々に秋の北大構内の空気を腹いっぱい吸いこみました。

会務報告 (H20.9.1~H21.7.31)

期日	会務事項
H20.10.11	平成20年度同窓会総会。
H20.11.26	廣瀬 量平先生（1期、音楽）逝去に付き竹田会長名で弔電。
H21.3.	教育学部主催のフォーラム開催、齋藤が出席。
H21.3.18	竹田会長の奥様逝去に付き幹事長名で弔電と弔花。
H21.3.21	近田 光路様（5期、保健体育）逝去に付き竹田会長名で弔電。
H21.3.25	北大卒業式。学部の学位記授与式・祝賀会に竹田会長と齋藤が出席。同窓会としてビールとアレンジメントフラワーを寄贈。学年幹事委嘱（石田 守克さん、足立 明夏さん）。
H21.3.31	岩井 混様（8期、教育社会学）逝去に付き竹田会長名で弔電。
H21.5.9	役員・幹事・特別会員あて、リテラ・ポプリ発送。
H21.5.30	木藤 茂男先生（1期、臨床心理、元同窓会長、現顧問）逝去に付き竹田会長名で弔電と弔花。
H21.6.17	北大連合同窓会合同会議。竹田会長と齋藤が出席。
H21.6.29	幹事会開催。学部60周年記念事業と連携することを確認。
H21.7.19	谷本 一之先生（4期、音楽）逝去に付き竹田会長名で弔電。

※会員の訃報や、転居などの情報は、事務局へお知らせ下さい。

会計報告 (H20.9.1~H21.7.31)

収入の部	支出の部		
前期繰越	240,626	総会時支払（H20）	135,000
総会時収入（H20）	154,500	会報作成発送（H20）	332,724
会費等収入（料金相殺）	429,960	通信費	40,117
雑収（銀行利息）	37	雑費・消耗品費	4,013
		慶弔費	48,865
		交際費	10,000
		小計	570,719
		*次期繰越	254,404
合計	825,123	合計	825,123

* 繰越内訳

郵便振替残	161,328円
銀行預金残	93,076円
合計	254,404円



学生支援の「北海道大学カード」

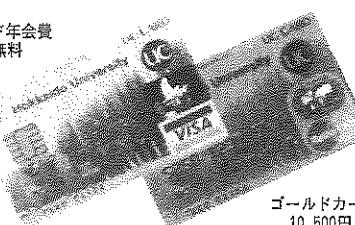
《北大人の証明》

北海道大学連合同窓会が発行する「北大カード」は、北大人としての証（北大同窓生、在学生父母及び教職員限定）です。

《北大カード特典》

- 附属図書館の入館証
 - 植物園の無料入園証（一般料金：大人400円）
 - 北大カード協力店の割引・優待
 - 北大出版会書籍10%割引
 - カード会社からの各種サービスなど
- （詳細は申込書等をご覧ください。）

一般カード年会費
永久無料



ゴールドカード年会費
10,500円（税込）

カードの利用に応じて
提携手数料がカード会
社から還元されます。
これを「学生支援資金」
として奨学金立給など
に活用しています。

1. 専用の申込書を下記あてご請求下さい。

2. 専用申込書に所定事項記入。捺印いただき、ご送付下さい。

3. カード会社の審査を経て、お申込から約1ヶ月後にカード会社から
配達記録郵便でご自宅あてお送り致します。

北海道大学連合同窓会事務局（北海道大学総務部広報課）

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話：011-706-2153

E-mail:koukai@general.hokudai.ac.jp

※UCCカードのホームページからも、申込書を請求できます。

(http://www2.uccard.co.jp/join/college/hokudai.html)

申込書ご請求先